

TOSHIBA

人・モノ・街のこれからを考える

FUTURE DESIGN

DISASTER MANAGEMENT 災害にそなえる

VOLUME

72

何もない日常って
幸せだな～。
だけど…

日本テレビの
お天気コーナーでお馴染み
木原さんに聞きました!

東芝エレベータ株式会社

DISASTER MANAGEMENT 災害にそなえる

何も無いに越したことはないけれど、何か起こったときはどうすればいいの？

「まずは慌てないことです!」とおっしゃるのは、

気象予報士としてテレビでもお馴染みの木原実さん。

なんと、防災士としても大活躍で、精力的に取り組まれています。

今回は、いざというときの備えについてお話を伺いました。



CONTENTS

- 03 **[特集]**
DISASTER MANAGEMENT
災害にそなえる
- 14 **[連載]** 「わっしょいニッポン」
シゲチャンランド
- 16 **[プレゼント]** Something Special
イワタニの
「カセットフー“達人スリムプラス”」



COVER PHOTO

日頃からの備えが
命を守ってくれる

いつどこで起きるか分からないのが災害の怖いところ。もしものときに自分自身や周りの安全を守るためにも、日頃から防災を意識することが大事です。

SDGsにつながる取り組み

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標（SDGs）には、17のゴールが設定されています。『FUTURE DESIGN』72号では下記の6つのゴールにつながる取り組みをご紹介します。



イワタニの 「カセットフー“達人スリムプラス”」

『FUTURE DESIGN』72号に対する感想をお寄せください。今回は裏表紙でご紹介したイワタニの「カセットフー“達人スリムプラス”」（専用ケース付き）をご用意しました。アンケートにご回答いただいた方のなかから、抽選で10名様にお送ります。



●応募締切
2023年10月31日
サイズ(約): 幅333mm×奥行257mm×高さ84mm
重量: 1.2kg 色: メタリックコーラル
(別途、専用ケース有り)

●応募方法
QRコードまたは下記のURL
にアクセスし、アンケートに
ご回答ください。
[https://wss3.5star.jp/survey/
login/inrce7tb](https://wss3.5star.jp/survey/login/inrce7tb)



2023年7月発行
発行: 東芝エレベータ株式会社
広報室
〒212-8585
神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34
TEL: (044) 331-7001
<https://www.toshiba-elevator.co.jp>
制作: 有限会社バース
印刷: 株式会社メディア グラフィックス



2017年7月 九州北部豪雨 [福岡県・大分県]

猛烈な雨の影響で、山間部の中小河川が増水、氾濫し、土砂崩れなどが発生。福岡県及び大分県で死者行方不明者42人、家屋の全半壊約1,400軒。



2019年8月 九州北部豪雨 [長崎県・佐賀県・福岡県]

長崎県から佐賀県、福岡県までの広範囲で発生した、線状降水帯による長時間の集中豪雨。各地点で観測史上最多の記録を更新した。



2022年11月～翌年4月 日本各地における降雪被害

北海道や北陸といった豪雪地帯から四国にいたるまで、日本全国で降雪被害が多発。雪崩や落雪が発生したほか、雪下ろし作業時の事故などによる死者60人、負傷者は1,000人以上にのぼった。

これから起こると 想定される災害

📍 南海トラフ地震

静岡県から宮崎県で最大震度7。太平洋沿岸の広い地域で10m超の津波を想定。

📍 富士山噴火

溶岩流が近隣の12市町に到達する恐れがあり、避難対象は約11万人以上と想定。

📍 首都直下型地震

都心南部直下の揺れで全壊家屋17万棟以上、建物倒壊で最大死者数1万人以上と想定。

📍 千島海溝 地震・津波

最大震度は日本海溝沿いで6強、千島海溝沿いで7。それに伴う津波は最大30mと推計。



2014年8月 広島豪雨災害 [広島県 (広島市安佐北区・安佐南区)]

広島市北部の安佐北区・安佐南区の複数箇所で発生した大規模な豪雨災害。土石流などで死者74人・家屋の全半壊約400軒。広島市内の地質が影響し被害が拡大した。



2018年7月 西日本豪雨 [広島県・岡山県・愛媛県]

広島県、岡山県、愛媛県などに甚大な被害をもたらした、死者200人超の豪雨災害。広域かつ同時多発的に河川の氾濫や内水氾濫、土石流などが発生し、家屋の全半壊は約17,000棟にのぼった。



2016年4月 熊本地震

14日にM6.5、最大震度7を観測する前震が発生。その2日後、M7.3、最大震度7の本震が発生し、熊本県と大分県の広範囲でも震度6強～6弱を観測した。



2018年6月 大阪北部地震

朝の通勤・通学時間帯に発生した、大阪北部を震源とするM6.1の直下型地震。大阪北部で観測史上最大の震度6弱を観測した。



2018年9月 北海道胆振東部地震

M6.7、最大震度7を観測した地震。札幌市内や新千歳空港などでも震度6弱を観測。火力発電所の緊急停止から発生したブラックアウトにより、北海道全域で295万戸が停電となった。



2014年9月 御嶽山噴火 [長野県・岐阜県]

火口周辺で多くの登山者が過す正午前に突然噴火した、戦後最大の火山災害。多くの登山者が巻き込まれた。死者58人、行方不明者5人。



2021年7月 伊豆山土砂災害 [静岡県 (熱海市)]

豪雨に伴い、静岡県熱海市伊豆山地区の逢初川で発生した大規模な土砂災害。小規模なものも含めて10回以上の土石流が繰り返し発生し、死者行方不明者28人、家屋の全半壊64棟。

災害大国、日本

近年起こった 災害とこれから

地震、台風、集中豪雨、豪雪、噴火など。一年中さまざまな自然災害が各地で発生しているにもかかわらず、私たちはその危険性をあまり意識することなく暮らしがちです。しかし、島国である日本は、地形や地質的にも不安定で、さらには昨今の気象の変化など複数の要因が重なり合い、非常に自然災害が発生しやすいということを忘れてはいけません。まずは近年起こった自然災害を思い出し、今後想定される自然災害にどう備えるか、考えてみましょう。

本誌の制作期間中にも、さまざまな地域において豪雨や地震、噴火といった自然災害が相次ぎました。被災された皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、ご遺族や犠牲になられた皆様に対して謹んで哀悼の意を表します。



2011年3月 東日本大震災

M9.0、最大震度7という、国内観測史上最大の巨大地震。東日本の太平洋沿岸部に大津波が襲来し、甚大な被害を与えるなど、日本は戦後最大ともいえる国難に直面した。



2019年9月 台風15号 [千葉県 (房総半島)]

関東上陸時の勢力としては過去最強クラスの台風。記録的暴風により、鉄塔やゴルフ練習場のポールが倒壊したほか、破損した多数の住宅の屋根を青いビニールシートが覆った。



2018年9月 台風21号

25年ぶりに「非常に強い勢力」で日本に上陸し、近畿地方を中心に甚大な被害を出した台風。大阪湾で3mを越す高潮を観測。空港の滑走路が浸水し、連絡橋にタンカーが衝突し孤立状態となった。

「防災士に合格したからといって、何かになれるわけではないです。それで、実際の防災に役立てようと、防災士制度を推進する日本防災士機構というところから、「防災意識を啓蒙していくような会をつくりたい、ついでには発起人になってほしい」と頼まれて、防災士数人で日本防災士会を立ち上げるようになったんです。初めのころは、会員を増やそうと合格者を勧誘しに行くと、「お前たちは何者だ!」と言われたり



気象予報士で防災士の 木原実さんが考える 「防災」とは?

テレビ番組の天気予報でおなじみ、気象予報士の木原実さん。実は防災士の肩書きを持つ、防災のエキスパートです。今回は、防災についてお話を伺いました。



「防災士の資格を取ろうと思われたのはなぜですか？」

阪神淡路大震災の後で、気象予報士の私に地震について話をしてほしいと依頼があったんですね。ただ、気象と地震は別だと思っていたので断ったら「気象庁には地震課があるのに?」と言われました。確かに地震も自然災害だし、知っておかなければと思うようになったんです。数年後、震災を機に防災士という資格ができて、いい機会だからと資格を取りました。——具体的にはどのような活動がされているのでしょうか?

しましたが、20年経つたいま、会員は1万人を超えています。

日本防災士会としての活動は、依頼を受けて防災の講演などの啓蒙活動ですね。私も幹事をやってきたころは、「防災意識を広めるんだ!」と意気込んでいましたが、いまは原点に立ち返って、まずは自分の家、そして向こう3軒両隣くらいまでの身近な防災に取り組んでいます。家具の固定や、非常用の水や食料、燃料などの備蓄などを見直し、ご近所同士、普段から声を掛け合ったりしています。

「一人ひとりがどう防災への意識を持てばいいのでしょうか？」

人間には、正常化バイアスといって、「多分大丈夫だろう」と考えてしまう傾向があります。東日本大震災でも、揺れる前に緊急地震速報が鳴ったのに私の周りでは誰も机の下に潜ろうとせず、揺れ始めてやっと「うわーっ!」って慌てたんですね。それじゃ直下型だと間に合いません。わずか1秒の差で、助かるかどうか明暗が分かりますからね。また、近年は地震だけでなく台風や集中豪雨、豪雪、噴火などさまざまな自然災害が多発しており、気象庁も「新たなステージに入った」と言い始めました。

予測不可能な自然災害もある一方、水害などはハザードマップで予想されていた通りに浸水しているケースが多いんです。つまり、日頃から考えて行動していれば、それほど被害が広がらなかったはずなんです。ですから、まずは、それぞれの災害に対してできることからでいいので備えておく。完璧にやろうとすると疲れてしま

い、結局やらなくなってしまますから、簡単にできることからいいんです。日頃歩く道でふと立ち止まって、「今ここで地震が起きたら?」とシミュレーションしておくだけでも、実際揺れたときに役立つはずですよ。あとは、防災士会に入るのもおすすめです! 講習で一通り教わりますからね。これも一つの備えです(笑)



気象予報士・防災士
お天気キャスター
木原実さん Minoru Kihara
1960年東京生まれ。俳優、声優であり、気象予報士として日本テレビのお天気コーナーなどで活躍中。防災士としては書籍や講演などで啓蒙活動を精力的に行う。一般財団法人防災検定協会理事、日本防災士会参与。

KNOWLEDGE 03



心得その3

常にシミュレーションしておく

災害に遭ったときの行動をシミュレーションしておくことはとても大事です。地震では、瞬間的に判断して行動しなければならないため、今いる場所ではどこが安全かを常に考えておくことが重要です。窓の近くはガラスが割れるかもしれません。屋内なら部屋の四隅は構造体があり比較的安全です。集合住宅では、脱出ルートを把握するためにも避難訓練は有効です。

平時と違い、災害によっては浸水や土砂で普段の景色と全く違ってしまふ場合もあります。土地の高低などハザードマップとも照らし合わせ、どこに何があって何を避けるためにどのルートが確保できそうかを、自分で考えておくことはもちろんのこと、日頃から家族で話題にしておくといいでしょう。

心得その4

パニックにならず落ち着いて対応をする

被災時は「生き延びる」ことを優先すべきですが、だからこそ落ち着いて行動することが大事です。特に狭い空間でパニックになると、みんなが出口に押しかけ、群衆雪崩で命を落とすような二次災害を引き起こしかねません。例えば、地下鉄に乗っているときに地震に遭ったとします。まずは吊り革やパイプにつかまり、転倒を避

けてください。そしてホームに出たら、必ず職員の指示に従うこと。慌てそうな人がいたら「落ち着きましょう」と静かに声を掛けるのもいいでしょう。誰かがパニックを起こすとそれがみんなに伝わって止められなくなってしまいます。地上に出るまでそれほど時間はかからないはずなので、とにかく落ち着いて行動することです。



慌てないで！
まずは、落ち着いて



心得その5

日頃から近所と仲良くしておく

災害が起きたときにご近所で助け合える「自主防災組織」の重要性が注目されています。まずは隣と向かいの家だけでも、災害が起きた際、「大丈夫ですか？」と声を掛け合える関係が大事です。都会では一人暮らしの世帯も多く、隣がどんな人も分からないというようなことがあります。できれば、日頃から挨拶だけでもしておくといいと思います。自治体の広報誌などで告知される町内の防災訓練に参加するのもおすすめです。地域の人たちと知り合え、町内の備品などについても知ることができます。また、地域には火災時の消火やレスキュー活動をサポートしてくれる消防団員がいますが、全国的に人材不足だと言われています。訓練や出勤には手当も出ますし、備品や防災の知識も身に付きますので、消防団員として地域防災を担うのもいいですね。



挨拶って本当、大事ですよ！



木原さんに教えていただきました 「まずは命を守る行動を！」 心得5つを紹介します

災害にもよりますが、「あのとき、こうしていたら…」というケースは実際多いもの。そんな「あのとき」が来る前に、必ずやってほしい心得をご紹介します。

意外に簡単だから、やってみて！



心得その1

ハザードマップを確認しておく

水害時の被害を最小限に食い止めることを目的として、その地域の危険度などを地図上に記載したのが洪水のハザードマップ。大雨による洪水や、河川の堤防決壊が発生した場合などに、住んでいる地域は何m程度浸水してしまうかが分かります。Webサイトでも確認ができ、国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」がおすすめです。ご自宅の住所を入力すると、浸水だけでなく、土砂災害や高潮、津波のリスク情報などが分かるようになっています。万が一に備え、自分たちが住む地域のリスクを確認するといいいでしょう。また、指定緊急避難場所の情報も記載されていますので、ぜひ確認してみてください。

実際に大雨などが迫ってきている際は、気象庁の「キキクル（危険度分布）」というWebサイトを確認してください。土砂災害、洪水害、浸水害の発生状況を地図上でリアルタイムに示しています。避難の必要性などもそのページを確認し、行動するといいいでしょう。



心得その2

防災タイムラインを考えておく

台風や大雨の接近に伴い、最悪の事態を乗り切るために行動を逆算して考えるのが防災タイムラインです。例えば、台風や大雨の予報が出たとき、停電などで家に閉じ込められることも考え、接近の3日前を目安に食料や水、代わりの電力などの確認と準備を始めます。1日前には注意報や警報レベルなど詳しく分かってくるので、避難が必要そうであれば早めが大事です。保険証や常備薬、赤ちゃんがいればミルクやおむつなどを忘れずに。

台風は速度や進路によってタイムラインを考えておくこと臨機応変な対応がしやすいはず。自宅が直接被害に遭わないよう片付けや戸締りを十分に行った上で、被害のなさそうな地方の親戚や友人の家に遊びに行くとか、旅行に出かけるなど、前もって離れるのも一つの手です。近くのホテルへの“避難”を考えていても、そういった段階になると満室も予想されます。地域や家族構成による防災タイムラインを考えておきましょう。



屋外 慌てず、TPOに応じて臨機応変に

屋 外で被災した場合、まずは慌てず、自分がいる場所によって適切な対応をとる必要があります。落下物や揺れに気付いていない自動車などに注意しながら、比較的新しく丈夫で公的な建物に避難したり、広場があればそこで揺れをやり過ぎたりと、臨機応変に対応しましょう。ただし、常に想定外ということもあります。直感的に危険そうだと感じたならば、

近寄らないのが鉄則です。ある実験で、校庭にいた小学生に抜き打ちで緊急地震速報を流したところ、生徒が次々に教室に向かって駆け出したのです。校庭にいれば安全なのに、「地震＝机の下」という刷り込みで行動してしまったのかもれません。実際の災害では、短絡的な行動は身の危険を招きかねません。TPOを考え、何をすべきかを判断しましょう。



自然災害には、地震などの予測不可能なもの、台風や豪雨などある程度予測できるものがあります。災害が起こったら、何をすればよいのでしょうか。

屋内 家の中にも危険な場所が

地震

ま ずはとにかく身を守ることに注意です。冷蔵庫やタンス、棚などの重量物が倒れてくる恐れがあるので、当たらないところに避難しましょう。特に、刃物や割れものなど危険物が多い台所からはすぐに離れてください。就寝中だった場合は、周りに転倒する危険物がなければ、揺れが収まるまで布団をかぶるの避難してください。

も有効です。最初の揺れが収まったら、ひとまずドアを開けておきましょう。鉄製のドアは歪むと開かなくなりやすいため、大きな地震ではその後の余震で閉じ込められないよう用心してください。木造家屋は、梁が折れて天井が落ちてくる可能性があります。その場合、部屋の真ん中にと直撃してしまわないので、部屋の角や柱の近くに避難してください。



災害別でシミュレーション
実際に災害が起こったらどうしますか？

屋外 できるだけ快適な避難所生活を

場 合によっては避難所で生活することも想定しておかなければなりません。いざというときにすぐに持ち出せるよう、最低3日分の食料と飲料水、カセットこんろやかん、寝袋などを入れた非常用持ち出し袋を、玄関の近くやすぐ取り出せるところに保管しておきましょう。

その際、寝袋は人数分用意しましょう。避難所の状況にもよりますが、例えば体育館のように、ただ広い場所ですぐに寝なければならぬ場合、背中やおしりが痛くなることや、温度調整が難しいことが想定されます。寝袋には冬用夏用とありますが、寒さ対策には羽織れるアルミシートなどもあります。少しでも居心地のよい睡眠が確保できるよう、例えば、キャンプなどで実際に試しておくのもいいかもしれません。



屋内 食料や水、衛生用品の備蓄を

台風・豪雨(雪)

停 電や断水が続くなか、何日も自宅で過ごすことを想定し、3日から1週間分の食料や水を備蓄しておきましょう。最近は、保存がきく食品を余分に保管し、古い物から使う「ローリングストック」も推奨されています。私はウォーターサーバー用のタンク(12L)を常に3つはストックするようにしています。また、災害直後の水が出るうちに、お風呂やバケツ、鍋やペットボトルなどに水を溜めることをおすすめします。食事にも必要ですし、断水時はトイレも流せなくなります。そして、ライフラインの復旧までに重宝するのがカセットこんろ。調理はもちろん、暖を取ることもできます。さらに万能なのがゴミ袋。容器としても、衛生面でもさまざまな使い道があります。利ですので、100枚以上は確保しておくといいいでしょう。



エレベーターにも防災対策を! 防災キャビネットを ご存じですか?

地震や停電で突然エレベーターに閉じ込められてしまったときに役立つ防災キャビネットがあります。

キャビネットの中には、手回し充電ライトをはじめ、救急用品や非常用飲料水、食料、袋式トイレなど11もの備蓄アイテムが。丈夫なキャビネットに収納されており、国土交通省からも積極的な設置が促進されています。エレベーター内に閉じ込められてしまった際、復旧までの時間を落ち着いてお過ごしいただけるよう、エレベーターのもしもの備えとしていかがでしょうか。

備蓄アイテム

- ▶ 手回し充電ライト (マイクロUSB出力端子付) ×1台
- ▶ 非常用飲料水 (50ml・5年保存) ×10パック
- ▶ 非常用食品 (50g・5年保存) ×10個
- ▶ トイレ目隠し用ポンチョ ×1枚
- ▶ 袋式トイレ (自立タイプ) ×10枚
- ▶ アルミブランケット (静音タイプ) ×2枚
- ▶ ホイッスル ×1個
- ▶ 救急用品 (3.5年保存) ×1セット
- ▶ ケミカルライト ×2本
- ▶ ポケットティッシュ ×5個
- ▶ プラスチック扇子 ×2枚



タイプは2種類!



コーナーにスッキリ設置できる
コーナータイプ



壁面にピッタリ設置できる
フラットタイプ

(詳しくは最寄の弊社拠点の担当者にご連絡をお願いします。)

コンパクトなのにこんなに入っている 木原さんの防災ポーチを 見せていただきました

木原さんが普段から持ち歩いているという防災グッズ。
お弁当箱くらいのサイズの透明ポーチ(⑪)には、
いざというときの便利グッズがびっしりと詰まっています。



必ず持ち歩いています

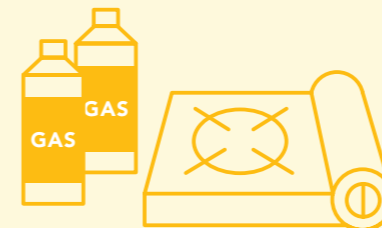


- ① アルミ保温シート
- ② 簡易トイレ
- ③ レインコート
- ④ 懐中電灯
- ⑤ 常備薬
- ⑥ スモークシャットアウト
- ⑦ 軍手
- ⑧ トランジスタラジオ
- ⑨ マスク
- ⑩ 万能ナイフ
- ⑪ ポーチ
- ⑫ レジ袋
- ⑬ ソーイングセット
- ⑭ 絆創膏
- ⑮ 手拭い

「最初ももっと大きかったんですが、いつでも持ち歩くので、どんどんコンパクトになっていきました」と木原さん。被災や避難時にこれだけは絶対持っていたいと思うグッズを精査し続け、木原さんが選び抜いた究極のマストアイテムがこちら。中には、レジ袋や

マスク、万能に使える手拭い、保温シートや簡易トイレ、さらには、火災時に煙に巻かれないようかぶるフードまで。なんと14アイテムが化粧ポーチほどの容量に収まっていて、これならば普段のバッグにもラクラク入りそうです。

おすすめを紹介 家に備えておくと助かるものは?



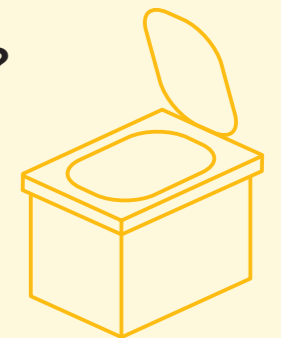
カセットこんろ

調理にもお湯を沸かすにも、寒いときは暖をとるのにも便利。鍋料理などで一家に一台はあるかもしれませんが、いざというときにカセットボンベの予備は多めに揃えておきましょう。昨今のキャンプブームもあり、コンパクトな折りたたみ型や、風よけ機能のあるアウトドア用もあります。避難袋にボンベと共に装着しておくといいでしょう。



室内用の靴とライト

屋外用でなく、室内用としてベッドの下などに用意しておくことをおすすめします。早朝に発生した阪神淡路大震災では、室内に転倒物やガラスなどの危険物が散乱し、暗い中で避難が困難だったと言われています。災害はいつ起こるか分かりません。1日のうち約半分は暗い時間です。危険物の散乱や停電なども想定し、準備しておきましょう。



簡易トイレ

災害で在宅避難をすることになっても、断水や配管の破損などで、トイレが使えないこともあります。1日平均5回トイレを使うとすると、4人家族では1日20回、5日で100回使用することになります。組み立て型の簡易トイレがあると安心ですが、汚物を処分するためのゴミ袋は、匂い対策も含め多めにストックしておくといいでしょう。

エレベーター利用中に地震が起こったら...

2009年以降設置のエレベーターには地震時管制運転装置の搭載が義務化されていて、地震の初期微動を感知した時点で最寄階に停止してドアを開きます。そして、一定時間後にドアが閉まり運転を停止します。大きな揺れの発生前に停止することで、閉じ込めなどのリスクが抑えられるのです。

前述の地震時管制運転装置が搭載されているエレベーターもありますが、エレベーターをご利用中に地震の揺れに気づいた場合は、万が一に備えて全ての行先階ボタンを押し、最初の停止階で降りてください。

なお、地震発生直後にエレベーターが動いていたとしても、避難には絶対に利用しないでください。停電や故障などで緊急停止するなど、エレベーター内に閉じ込められるおそれがあります。



北海道網走郡
津別町相生

東京時代の、初期の頃の作品も展示している「ヘッドハウス」にて。大西重成さんと妻の教子さん（通称ココさん）。

シゲチャンランド
お客さんを虜にする
生命力溢れる美術館

人気絶頂のイラストレーター大西重成さんが、ふるさとの北海道へUターン。「シゲチャンランド」開設から23年目を迎える。未知なる生き物たちと、その生みの親である大西さん夫婦に会いに行った。

●写真 阿部了 ●文 阿部直美

愛嬌のある生き物たちを「感じる」面白さ

北海道の東部・津別町。牧草地や原野が広がるのどかな景色を眺めながら網走川沿いの国道を走っていると、ポップな赤い建物と摩訶不思議なオブジェが目に入って不意打ちを食らう。今のは、何だ？ 通り過ぎてから、引き返す人は多い。その正体が知りたくなるのだ。ようこそ、シゲチャンランドへ。そこは、造形作家・大西重成さんの私設美術館だ。

一歩足を踏み入れると、今度は抜け出せなくなる。何だ、この生き物は？ すっとほげた顔、変なポーズ、君は誰？ どこから来たの？ 未知なる生き物の前から、離れられなくなるのだ。「流木や骨、使い古した布や缶などを使った造形作品」なんて言葉にしても、この魅力は伝わらない。ただもう、愛嬌のある生き物たちを「感じる」面白さに尽きる。

「政治家、刑務所から出てきたばっかりの人、女装家、校長先生、重度の障がいがある人。うちに来てくれる人たちは、ホントに幅広いよ。ここで、向き合っただけ話す時間も楽しみですよ」。5月から10月のシゲチャンランドがオープンしている間、チケットもぎりのオヤジとして、大西さんがパイプをふかしながら皆を迎



えている。妻のココさんも一緒だ。砂の採掘場が少年時代の遊び場だった大西さん。「砂山の向こうからゴジラがやってくる」なんて妄想を繰り広げていた。思春期になると砂山の向こうの世界が見たくなる。「映画を観て、情報が入ってくるの。ファッション、音楽、文化的なものへの憧れがあったんです。坂本九が穿いている「ジーンズ」ってものを、自分も穿いてみたいなあと思って、津別にはなかったから」。高校卒業後、



(左) 原野に囲まれた展示小屋を歩き来しながら過ごすのも、ランドの楽しみ。
(右) 流木の生き物たちと目が合うと、思わず時を忘れる。

横浜の郵便局に就職した。その後デザインの仕事へ進み、イラストレーターになる。坂本龍一のジャケットやモスバーガーの「モスモス」シリーズなど、独創的な作品でまさに時代を牽引してきた。そんな大西さんが、ココさんと共に故郷に帰ってきたのは50歳の時。第一線で活躍していたのになぜ？ と思った人も多いだろう。「僕は東京から落ちこぼれてきた変な男って思われてたよ」と笑うが、時代の先駆けだ。新しいモノに溢れた都会生活から、北海道の小さな町へ。原野だった土地を見つけ、4年がかりで牛舎やサイロを改造して2001年に「シゲチャンランド」をオープンさせた。

「このタイの骨なんて、神秘でしょ。自分が食べた魚の骨さえ、サバ、カレイなどと区分けしてきちんと箱に詰めている。空き缶やペットボトルのキャップ、雪かきスコップが欠けた破片。どれも本来の生命が終わったものなのに、大西さんの作業場には寂れた気配が全くない。この流木で何かしたいな、と思うと、ただじっと眺めるのだという。その日に思いつかなくてもいい。ある日ふと閃く。「モノとモノ同士が、くっつけてくれ」とか喋り出すんだ。だからね、あ君はこういう生き物だったんだね。って、僕は医者みたいに手当てをする」。作業場は、生命誕生の場なのだ。

シゲチャンランドを一巡すると、「シゲチャンの目」を自分も受け継ぐことになるから不思議だ。そこらへんの小石はたまた鼻をかんだティッシュさえ、妙に愛おしく感じる自分がある。大西さんの「面白い」が乗り移って、見える世界が違っている。「せつかく生きるんだから、楽しく生きなきゃ」。大西さんが何度も口にした言葉だ。子ども時代、町の外へ出なければ手に入らないと思っていた文化的なもの。それを今、生まれ故郷の自然のものから生み出しているのが大西さんだ。今、わざわざ津別のシゲチャンランドを目指して人がやってくる。

気になるモノを見つけました

Something Special


20

災害時にも役立つ、スタイリッシュなカセットこんろ イワタニの「カセットフー“達人スリムプラス”」

災害時に電気やガスが止まると復旧までにかなりの時間がかかる場合がある。東日本大震災のときには、ガスが9割復旧するまでに約1か月かかったそうだ。

そんなときにがあると安心なのがカセットこんろ。イワタニの薄型カセットこんろ「カセットフー“達人スリムプラス”」は、「炎が外に広がりにくい」「ガスを無駄なく使

い切る」作りになっており、燃料を節約できて災害時も非常に助かる。さらに、五徳までの高さが74mmと薄いことで、鍋を置いても使いやすく、しかもスタイリッシュ。専用のケースに入れておけば、安全に持ち運びや収納もできる。カセットこんろと併せ、ガスボンベも常備しておくことは、災害への備えにもつながる。

 合計10名様にプレゼントします。詳しくはP2へ



頑丈な専用ケースで
災害時も安心!

